

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 19 日 作成

事務事業名		下水道運営審議会運営事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり		所属部	水道局	課長名 久留 伸二	
	施策	10	水環境の保全		所属課	上下水道課	担当者名 課長補佐 中島真由美	
	基本事業	28	水質の浄化		所属班	庶務料金班	(内線) 1191	
法令根拠					合志市下水道事業運営審議会条例			
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 ⑫ コスト削減優先度評価結果 -
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 56 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】

下水道事業の円滑な運営を図るため、受益者負担金、使用料、その他市長が下水道事業の運営に関し必要と認める事項について、市長の諮問に応じて審議する合志市下水道事業運営審議会の運営を行う

【業務の流れ】

委員の選任、委嘱状交付、審議会開催通知、議案・資料の作成、審議会の開催、議案の説明(諮問)、質問への回答(答申)、報酬等の支払い

【主な予算費目】

報酬、費用弁償、需用費、役員費

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ・委員へ委嘱状を交付した ・H19年度中に下水道運営審議会から答申を受け、議会の議決を経て、下水道使用料を統一(改定)した(H20.10.1より) ・審議会については、案件が生じなかったため実施しなかった	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ・下水道事業、下水道使用料等の概要説明 ・交代委員への委嘱状交付
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 ・下水道事業運営審議会 ・下水道事業運営審議会委員	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 審議会の開催回数 回 イ 議事案件数 件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・市長の諮問案件について審議してもらい、的確な答申を出してもらう	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 下水道事業運営審議会委員数 人 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) ・水質が向上する	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 答申件数 件 イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 市内河川のBOD(測定地点)基準達成率 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	230	266	237		119	356		237
		繰入金	千円								
	一般財源	千円									
	(A) 事業費計	千円	230	266	237	0	119	356	237		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費										
正規職員従事人数	人	4	11	9	2	9	11	9			
延べ業務時間	時間	450	526	450	30	380	600	500			
(B) 人件費計	千円	1,787	2,093	1,791	119	1,512	2,388	1,990			
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,017	2,359	2,028	119	1,631	2,744	2,227			

指標	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画
活動指標	回	2	3	2	0	1	3	2	目 標 合 計 値 画 22 年 度
対象指標	人	20	20	20	20	20	20	20	
成果指標	件	1	2	0	0	0	1	0	
上位成果指標	%	100	100	100	100	100	100	100	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
下水道事業の円滑な運営を図るため、合志市下水道事業運営審議会条例に基づき設置。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
開催については、毎年の事業内容及び計画について、執行部より逐次説明を行う。
主な審議案件の下水道使用料改正等については、国等の算定指針の改正及び算定指針の根拠数値となるのが、3-5年毎の事業実績、計画であるため常に情報を共有しなければならない。そのため状況により年2-3回の開催を増やす等の対応が必要とされる場合がある。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし

事務事業名	下水道運営審議会運営事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 意図の条例に基づいた審議会を開催することにより、適切な運営ができるようになる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 下水道事業を適正に実施する上での諮問機関であり妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象、意図ともに現状で適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 答申件数としては諮問件数と同件数になるため向上の余地はないが、審議会の運営としては、限られた時間での審議になるため、わかりやすい資料の作成や簡潔に説明する等常に審議が深まるよう配慮する必要がある。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 審議会の運営は、下水道事業がある限り、重要案件の審議など住民の声を反映して指針を決定することが重要であり、廃止・休止は下水道使用者の声が反映できなくなる可能性がある。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 審議会の運営事業については、他に類似した事業はない。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 審議委員数及び回数は、現在の運営で必要最小限であり削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 近隣市町村との情報の共有によるデータの構築など、公共性を求められるので、民間委託等は考えられない。また、業務時間及び人数については、現在で必要最低限である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 受益者負担の原則から公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>② 有効性について、審議会の開催は限られた時間、回数であるため議案内容について十分は説明等を行い、わかりやすい資料作成に努め、審議が深まるよう配慮する。</p> <p>① 目的妥当性、③ 効率性、④ 公平性については適切である。</p>
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 1.議案内容について委員に十分説明し、的確な答申が得られるよう努める。 2.市の組織形態(上下水道を1つの課で運営している。)を考慮し、住民主体の考えから、審議内容は、上下水道とした方が有効性がある。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 1.議案内容について委員に十分説明し、的確な答申が得られるよう努める。 2.審議内容を上下水道まで拡大すると、会計の形態(上水道は企業会計)及び地方自治法等(運営審議会の構成のあり方など)に問題がある可能性がある。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	3	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	7	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)